

2 市民会議に参加しての感想・食育への思い



計画は目標に終える事なく、実践したい。
今更ながら色々と考えさせられる事が多い。
食育に関して今まであまり考えていなかったが、市民会議に参加してとても大切だなと思った。
健康な体をつくる為には、大変良い集まりだと思った。
子供の頃から大切な食育だが、何も考えないで過ごし子育てをしてきたような気がする。もっと考えなければと感じた。
食を通して、いかに自分や家族たちが関心のない生活をしていたかと反省。
1日1回は家族と一緒に食事を摂ることは、今の時代は難しい。
子どもが小さい頃はやりやすかったが、中学・高校になるにつれて難しい事だと思う。
市民会議という名のごとく、一市民参加型の自分達で作るという食育会議だった。
それぞれの市民の力が計画に生かされるとうれしい。
地域の活性化がなければ佐渡市も活性化していかず、個人として今自分が何をすべきかを考えるよい機会となった。
この会に参加して、各地区の多くの知らない人達と意見交換が沢山でき、また幅広い食に関する勉強ができ、とても有意義な時間を過ごせたことを心より感謝します。
健康推進員さんはさすがに食事に対する想いがあり、積極的で頼もしいと思った。
とても素晴らしい会議に参加させてもらったと感謝します。
2回目の参加で、食育の普及について各部門で具体的な意見がたくさんできて、これからの自分の生活の中に役立つことがたくさん見つけられてよかった。
食という身近なテーマに対し、一人一人がしっかりと意見を出していた。
実践にむけての知恵も、色々な場で求めていくと良いと思った。
知らないこと、知らない人がいっぱいあるのだなと思った。
食をもっと勉強しなければと思った。
この会の趣旨をふまえて、これからも食育について考え、生活したいと思う。
推進計画について、全市民がスムーズに受け入れられるとよいと思う。
意見を参考に個人としてできる事から始めたいと思った。
それぞれの立場での食育への思いがあり、頼もしかった。これこそ食育なのだと思った。
佐渡産のレシピや郷土料理が、もっと流通ルートを使って広まると良い。
色々な人と皆で話すことにより共感することが多くあり、これからも皆でつながって佐渡の元気づくりになると良いと思った。
日頃深く考えずに生活をしているので、今日のように全員で良い意見を出しながら生活に取り入れていくと、ある程度健康を維持したり将来的に

も良い人生を送ることができるかなと思った。

食を通していつも考えることは、生産者と消費者の立場だが、良いきれいなもの（見かけが良いもの）を生産しようとする農薬を度々使わねばならず見かけが悪いものは買う気になれないという考え方は捨てた方が良いのではないかと思う。

コミュニケーションのグループで話をしたが、自分の家庭の食卓のあり方を改めて考えるきっかけになった。

何でもすぐ手に入る世の中だが、何でもすぐ手に入るからこそ食育というものをもう一度考えなければならないと思った。

「コミュニケーション」にも色々あるのだと発見でき、明日からの家庭でのコミュニケーションの参考にしていきたいと思う。

お年寄り、子ども、私達、全ての年代の人達が楽しく交流できる何かを形にできるといいなと思う。

みなさんとお話して世代は違っても“食”に対する思いは同じでやはり大切な事なのだと改めて感じた。

各地区で取り組んでいる良い事例を島内に広める事も重要ではないか。

食の安全、無農薬に越したことはないと思うが、野菜や花の組み合わせで虫の予防が出来る等エコファーマー等、地産地消で農業体験ではないか。

大学生を受け入れ、地産地消の地場野菜でもてなし、喜んでもらえた。

安心、安全が一番だ。

食に対する認識を再確認した。これらを実践することにより、健康寿命につなげていけたら良いと思う。

自分だけでなく、地域ぐるみで実践出来たら良いと思う。

みんなが佐渡の食文化に対して興味と関心を持っていることを頼もしく思った。

参加者一人一人が考えている（思っている）事を聞き出しながら作り上げていく方法は良いと思う。

